

世界の光
B4教会のクリスマス
ポー・すターン・ブレディー
2024年・12月・15日

イザヤ書 9 章 - 闇の中を歩む人々は、大いなる光を見ました。これはイエスの預言です。旧約聖書は、イエスの到来を常に私たちに示しています。常に。

これまでに語られた最も偉大な物語の 1 つは、創世記 1 章の 3 つの言葉で始まります。初めに。創造の物語は、ユダヤ人の間で尊敬されていました。それは彼らの神を唯一の真の神として区別しました。そこには闇と深い虚空があります。秩序も境界もありません。そして、この大きく広大な混沌の中で、神は私たちが聞いたことのある最初の言葉を語ります。光あれ。私たちのために家を建てる最初の行為は、光と闇を分けることだったと書かれています。光の賜物がなければ、他の創造物はどのように感じられたのでしょうか。西暦 90 年に進み、使徒ヨハネが福音書を書きます。それは創造の物語を語り直すことから始まりますが、ヨハネの語りでは、始まりの前から始めます。そして、ヨハネが行うすべてのことと同様に、彼はイエスから始まります。

“まだこの世界に何も無い時から、キリストは神と共におられました。キリストは、いつの時代にも生きておられます。キリストは神だからです。このキリストが、すべてのものをお造りになりました。そうでないものは一つもありません。キリストには永遠のいのちがあります。全人類に光を与えるいのちです。そのいのちは暗闇の中でさんざんと輝いていて、どんな暗闇もこの光を消すことはできません。”

ヨハネの福音書 1:1-5 JCB

イエスは命と光として来られます。

命 = 肉体的(現在)および精神的(特に未来)存在の両方の命。zao; 命から。

私たちは肉体的かつ精神的な存在です。神は私たちのあらゆる部分に命をもたらすために息子を遣わしました。彼の命は私たちの死と衰退に侵入します。

光 = 「phós」は主に文字通りと比喩的な意味で光を意味します。文字通りには、日光やランプの光などの自然光を指します。比喩的には、精神的な啓示、真実、神の神聖な存在を表すために使用されます。それはしばしば純粋さ、神聖さ、そして人類に対する神の真実の啓示を象徴します。

暗闇の問題を見なければ、光の美しさを理解するのは難しいです。(技術担当: ここで照明を暗くして、子供たちに光る棒を上げてもらうことはできますか?)

闇 = スコティア = 新約聖書では、「スコティア」は、精神的または道徳的な闇、無知、神の光の欠如を表す比喩として使用されています。それは混沌、悪、未知と関連しています。

ギリシャ・ローマ世界では、闇は混沌、悪、未知と一般的に関連していました。これは私たちにも当てはまります。1977年、ニューヨーク市で3日間停電が発生し、真っ暗な通りに人々が溢れ、略奪や店への放火が起こり、犯罪が蔓延しました。市全体で1,000件以上の放火が発生し、そのうち60件が大規模なものでした。政府の調査によると、約2,000件の建物が破壊され、2人が死亡、436人の警察官が負傷しました。

「略奪者、破壊者、放火犯にとって、それは7月のクリスマスだった」とある記者は語った。暗闇は混沌、邪悪、破壊を覆い隠す。

聖書の著者は、暗闇を無秩序とみなすこの文化的理解を利用して、精神的な真実を伝えた。ユダヤ人の思想では、暗闇はしばしば裁きと神の存在からの分離を象徴していた。

暗闇は、方向感覚や秩序のない場所を表します。感じること: 危険、イライラ、麻痺。暗闇の中では前進できません。暗闇の中では前進できません。(バンド: 車を止めたら、大量の雪がフロントガラスに滑り落ちてきて何も見えませんでした。運転を続ける? いいえ。暗闇は衰弱させます。)

創世記 1 章が神がどのように私たちの外の物理的な世界を創造したかを語っているのなら、ヨハネ 1 章はイエスがどのように私たちの内なる世界を再現するために来たかを語っています。イエスは鐘が鳴り、聖歌隊が歌っている中、突然現れたわけではありません (聖歌隊が歌っていたと思います!)。人里離れた田舎町の未婚の母親のお腹の中にこっそりと入ってきたのです。住所もお金もありません。怪しい経歴があります。私たちの光としてやって来る可能性が最も低い赤ちゃんです。それでも...イエスはそこにいます。

ルカ2章には、イエスの実際の到着の様子が記されています。

“その夜、町はずれの野原では、羊飼いが数人、羊の番をしていました。そこへ突然、天使が現れ、主の栄光があたり一面をさっと照らしたのです。これを見た羊飼いたちは恐ろしさのあまり震え上がりました。天使は言いました。「こわがることはありません。これまで聞いたこともない、すばらしい出来事を知らせてあげましょう。すべての人への喜びの知らせです。今夜、ダビデの町(ベツレヘム)で救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。布にくるまれ、飼葉おけに寝かされている幼子、それが目じるしです。」”

ルカの福音書 2:8-12 JCB

羊飼いたちは待ち、見守っていた。いつ? 夜だ。

イエスの赤ちゃん誕生の知らせさえも、暗闇を突き破る光をもたらす。

イエスの誕生の物語を追っていくと、イエスの両親がイエスを神殿に連れて行くのがわかる:

エルサレムにシメオンという男がいました。彼は正義の人で、信仰深い人でした。聖霊は彼に、死ぬ前にメシアに会うであろうと啓示していました。マリアとヨセフがイエスを連れて来たとき、彼は神殿にいました。シメオンはイエスを腕に抱き、神を祝福して言いました。「神よ、どうか今、この僕を安らかに死なせてください。

この目であなたの救い主を見ました。

異邦人の光、あなたの民イスラエルの栄光です。」ルカ 2

シメオンはイエスを見たとき、それが世界の光だと気づきました...それは彼には明らかでした。奇跡が一つもなくとも、言葉が一つもなくとも。自分で食事をとることも、説教をすることも、魂を救うこともできなかったのに...シメオンはそれを理解しました。彼はその赤ん坊を見て、ランプのスイッチが切り替わりました。これが世界の光です。そして彼が「異邦人の光」と言っているのは、ユダヤ人の世界だけではなく、本当に全世界を意味しているのです。この一文で、イエスの役割はユダヤ人の王から私の王へと拡大されました。私の人生と私の世界の王。この部屋にいる私たちの王。暗闇と混沌と不明瞭さの中を歩いているビーバートンの人々は、大きな光を見ました。

シメオンはイエスだと気づきました。しかし、多くの人は気づきません。彼らは光から心を隠します。彼らは運転を続けます。衝突を続けます。次の角の向こうに何があるのか考え続けます。

ジョンはそれについて語っています:

“後に、ほんとうの光である方が来て、全世界の人々を照らしてくださったのです。ところが、世界を造った方が来られたというのに、だれもこの方に気づきませんでした。ご自分の国に来ながら、ご自分の民に受け入れられなかったのです。この方を心から喜び迎えたのは、ほんのわずかな人たちだけでしたが、受け入れた人はみな、この方から神の子どもとなる特権をいただきました。それにはただ、この方が救ってくださると信じればよかったです。信じる人はだれでも、新しく生まれ変わります。それは、人間の熱意や計画によるものではありません。神がそう望まれたからです。”

ヨハネの福音書 1:9-13 JCB

真の光はすべての人に光を与えます...しかし、それを受け取るのは一部の人のみです。それを見てください。それに従って生きてください。このメッセージに取り組んでいるとき、私はこの点に至り、聖霊が私を止めて質問しているのを感じました。あなたは今、自分の人生にどれだけの光を取り入れていますか？あなたが恐れや疑いを隠している暗い隅を照らしてくれるよう、私をどれほど喜んで受け入れますか？私の光があなたの人生に輝き、あなたの人生を通してあなたの家族や友人、見知らぬ人や世界に届くよう、どれほど喜んで受け入れますか？

こうしてイエスは成長し、人間になりました。イエスは人々と共に生き、呼吸し、歩きました。イエスは父の言葉を伝えました。イエスは癒し、赦し、愛しました。そしてヨハネ8章で、イエスはご自身のアイデンティティと、そのアイデンティティが私たちにとって何を意味するかをはっきりと示しています。

“そのあとで、イエスは人々にお話しになりました。「わたしは世の光です。わたしに従って来れば、暗闇でつまづくことはありません。いのちの光が、あなたがたの進む道を明るく照らすからです。」”

ヨハネの福音書 8:12 JCB

ここに、私が挑戦を感じるもう一つの箇所があります。もし私がイエスに従っているなら、そしてそうであることを私は心から願っていますが、私は決して暗闇の中を歩かなくて済むのでしょうか？それは驚くべき約束です。比喩的な暗闇は、さまざまな形で私たちの生活を取り巻くと思

います。それは混乱と混沌としてやって来ます。それは恐怖としてやって来ます (恐怖で目がくらむときほど自分が盲目だと感じることはありません)。それは苦々しさ、怒り、嫉妬、またはプライドとしてやって来ます。それは暴力、戦争、抑圧としてやって来ます。それは噂話や中傷としてやって来ます。暗闇は私たちの世界を徘徊し、光を盗み、殺し、破壊しようとしています。しかし、私たちはすでにヨハネの美しいクリスマスの物語から、暗闇はそれを克服できないことを知っています。

旧約聖書からのこれらの預言的な約束のいくつかを聞いてください:

“主は私の光、また救いです。だれを恐れる必要がありません。”

詩篇 27:1 JCB

“それでも、私は主に助けを求め、神が私を救い出すのを待ち望む。神は私の言うことを聞いてくださる。敵よ、私のことで喜ぶな。私は倒れても、また起き上がるからだ。たとえ暗闇の中に座っていても、主が私の光となる。”

ミカ書 7:7-8 JCB

“どうか、あなたの光と真実を送って、きよいシオンの山にある神の宮へと私を導くようにしてください。”

詩篇 43:3 JCB

“もはや太陽や月の光はいらない。あなたの神であるわたしが、あなたの永遠の光、あなたの栄光となるからだ。”

イザヤ書 60:19 JCB

“主は、私に明かりをともしてくださいました。私の神、主は、私を包む闇を光に変えてくださいました。”

詩篇 18:28 JCB

最後に、新約聖書からもう一つ:

“しかし、あなたがたはそうではありません。あなたがたは神から選ばれた王なる祭司であり、きよい民として神のものとされた人たちです。それはすべて、どうして自分が暗闇から神の驚くべき光へと招き入れられたかを、人々に語り伝えるためなのです。”

ペテロの手紙 I 2:9 JCB

聖書は、イエスが私たちの人生と世界を照らし、私たちを通して世界への光として輝くために来られたと説得力のある主張をしています。

今日、特に光が必要な場所がありますか？ 指示、導き、希望、知恵が必要ですか？ その暗い場所をイエスの前に掲げてください。ジェナが降臨のキャンドルを灯しに来る前に、私たちのために祈りたいと思います。